

## 2019年度上半期 資金運用状況について

### 1. 資金運用に関する基本方針（本学資金運用管理規則第4条）

- ・元本回収の安全性及び確実性に最大限配慮し、資金の効率的な運用を図ること。
- ・資金繰りに支障を来さないこと。

### 2. 資金運用に関する審議機関の開催状況

〈第1回開催概要〉2019年度第3回役員会

- ・開催日：2019年6月12日（水）
- ・報告事項：2018年度資金運用実績について

〈第2回開催概要〉2019年度第5回役員会

- ・開催日：2019年7月25日（木）～8月1日（木）
- ・審議事項：2019年度資金運用計画について

### 3. 資金運用計画及び実績

| 資金運用計画  | 資金運用実績  |
|---|---|
| <p>（1）中長期運用分</p> <p>①. 本年度債券（2億円）が償還されるため、ラダー型ポートフォリオ（2億円×10年）を維持するために2億円（10年債）を購入する。</p> <p>②. 債券の購入時期を、償還日よりも前倒しで購入する。なお、財源は短期運用資金とする。</p> <p>（2）短期運用分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金繰りの見直しによる資金規模の拡大及び運用時期を早期化し、1年未満の預貯金による運用を行う。</li> </ul> | <p>（1）中長期運用分・・・27億円</p> <p>資金運用計画どおり、寄附金の短期運用資金を財源に本年度償還となる債券の償還日（2020年2月）よりも前倒し（2019年10月）で電力債（10年債、利率0.98%）を2億円購入して、ラダー型ポートフォリオを維持した。</p> <p>（2）短期運用分・・・65億円</p> <p>資金繰りの状況確認を従来の月単位から日別管理に改め、有事（キャッシュアウト）に備えた。これにより、運用規模もより適切に把握できることから運用規模を拡大し、短期運用について8月初旬から65億円の上積みを図った。</p> <p>また、短期運用の収益性を更に高めるため、他大学の運用状況等を調査しつつ、安全かつ収益性を見込める金融機関の選定を行い、当該金融機関との折衝の結果、従来よりも有利な条件で大口定期預金を約定した。</p> |

### 4. 資金運用益見込（2019年10月9日現在。）

（単位：千円）

| 事項    | 当初計画①  | 運用益見込② | 増減額②-① | 増減率②/① | 備考  |
|-------|--------|--------|--------|--------|---|
| 長期運用分 | 15,662 | 15,262 | ※ ▲400 | 97.4%  | ※長期運用分として10月9日に購入した債券の初回利払日が2020年4月9日のため、初回利息980千円は翌年度の収入として入金予定。 |
| 短期運用分 | 1,044  | 3,631  | 2,587  | 347.8% |   |
| 合計    | 16,706 | 18,893 | 2,187  | 113.1% |   |